



国際ロータリー第2610地区 **南砺ロータリークラブ**
クラブ会報

な ん と

NO. 2135



URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/金沢信用金庫福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影
写真同好会
中田 修会員



となみ野の朝霧

第2195回例会 平成24年10月2日(火)曇

ガバナー公式訪問 〈例会変更〉於：みや川

◆点鐘 18:00 中田 修会長

◆司会 永井則平 SAA

◆ソング「君ケ代」「四つのテスト」

◆ゲスト 中尾哲雄ガバナー、岡部一輝第4分区ガバナー補佐、奥野博之地区幹事、宮本良樹地区筆頭副幹事

◆会長の時間 中田 修会長

今日はガバナー公式訪問の日、中尾ガバナーようこそ初秋の南砺へお越しいただきありがとうございます。後ほどガバナーには卓話をしていただく事にしています。宜しくお祈りします。また、同行者には、ガバナー補佐の岡部一輝(おかべかずき)君、地区幹事の奥野博之(おくのひろゆき)君、地区筆頭副幹事の宮本良樹(みやもとよしき)君にお越しいただいています。ようこそお越しくださいました。

さて、一昨日夜半通過の台風17号は県東部では強風との報道でしたが、南砺市は夜半3時ころの降水量は多かったようですが被害は無く何よりでした。

また、この日9月30日は、旧暦の八月十五日、つまり中秋の名月でしたが名月やいずこでした。こんな話を聞いた事ありませんか、中秋の名月は縁起がわるい。今年の中秋の名月は六曜では「仏滅」でした。でも、何年たっても気持ちよく、お月見は出来ないことになります。なぜならば「中秋の名月は必ず仏滅になる」。

中秋の名月が必ず仏滅になる理由

1、中秋の名月の日付

ご存知のとおり、中秋の名月は旧暦の八月十五日。

旧暦では秋は「七、八、九月」です。そして、暦月の真ん中の日と言えば十五日。よって八月十五日と言えば「秋の真ん中の月の真ん中の日」ですから、秋のど真ん中で「中秋」となります。

2、六曜の順番を決めるもの

六曜は旧暦の月と日で決まります。旧暦の(月+日)÷6=?と余りN

この計算で「?」は何でもかまいません。重要なのは「余りN」。このNと六曜の関係は次の表の通りです。

Nの値	0	1	2	3	4	5
六曜	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅

さて、上の2つの条件を組み合わせると、中秋の名月→八月十五日(旧暦)→(8+15)÷6=3 余り 5 → 仏滅となります。

◆出席報告

上坂武喜委員長

会員数	10月2日出席率	9月18日の修正
55 (免除1)	100.00% (欠0)	87.04% (欠7メーク5)

メークアップ：井沢正生君、尾山裕和君、南部勉君、西村孝君、船藤幸生君

歓迎!! ガバナー公式訪問



判り易く熱く語られる中尾ガバナー

◆幹事報告

渡邊秀一幹事

2件ありました。

◆委員会報告

○出席

上坂武喜委員長

事前メーク3名、本日の出席52名で100%となりました。ご協力感谢您いたします。

☆ニッコニコボックス

山田 勉委員長

地区ガバナー中尾哲雄様、地区幹事奥野博之様 地区筆頭副幹事宮本良樹様/公式訪問致しました。有難うございました

中田修君 中尾ガバナーをお迎えて卓話が楽しみです。今日は月1回のJR城端線で出勤です。

渡辺君、久恵君、古軸君、山田勉君、吉田君、高野君、川合君、牧君、荒井君、北島君、桶谷君、古瀬君、中田裕君、宮川君、木勢君、上坂君、木本君、税光君、松本一君、井沢君、松村君、谷村君、安谷君、畑山君、船藤君、松本敏君/中尾ガバナーをお迎えて。

尾山君 わらび学園の子供達元気でした！中尾ガバナーをお迎えて。

澤田君 中尾ガバナーをお迎えて。本日はようこそいらっやいました。福光の夜をごゆっくりご堪能下さい。

東 君 大変うれしい日です。ガバナー様をお迎えて。

河合君 10月になり、各寺では報恩講の季節。何かと慌ただしく感じます。今日はガバナー公式訪問、ガバナーをお迎えて。

西川君 中尾ガバナー、ようこそおいで下さいました。

高田君 今日はよろしくお祈りします。

石崎和君 今日は、営業に行き2件契約取れました。ガバナー訪問有難うございます。

丹羽君、米田君/ガバナー訪問、ご苦労さまです。

細川君 夜間例会楽しみです。中尾ガバナーをお迎えて。

三吉君 ガバナー訪問有難うございます。

湯浅君 中尾ガバナーをお迎えて、有難うございます。

松井君 中尾ガバナーようこそお越し下さいました。

藤田君 年に一度のガバナー訪問の例会に出席して。

森 君 中尾ガバナーの来訪を楽しみにしておりました。

岡部君 中尾ガバナーようこそお越し下さいました。

本日のプログラム

10月9日(火) 第2196回

職業奉仕フォーラム

井沢正生職業奉仕委員長担当

次回の予定

10月16日(火) 第2197回

卓話 城端中学校々長 吉野 肇先生

川合声一会員担当



散居村のみどりの平野、美しい山なみ、そして白川郷や五箇山。桂湖、縄ヶ池、桜が池・・・豊かな自然、文化、歴史の南砺は彫刻の町でもある。豊かな地域には心豊かな人々が住んでいると思っているが、この地もそうであろう。憧れているこの地のロータリーの皆さんにお会いすることができて、大変うれしく思う。昨年、経済同友会の全国大会を富山で開いたが、その開会にあたって南砺平高校のみなさんに「こきりこ節」などを踊っていただいた。全国の参加者がみな感動し、多くの方々から感動的な感想が寄せられた。

◇田中作治 R I 会長

まずはじめに、ガバナーとして、R I 田中会長についてお話し上げたい。

田中氏は新潟県の山村のお生まれである。休みの日にはお母さんと荷車に野菜を積んで町へ売りに行ったという。中学を卒業すると集団就職で東京墨田区のガラス工場で働いた。私が中学を卒業した頃は、村の120名の中学卒業生は19名が高校に入ったが、大半は集団就職で東京や大阪へ行ったものだ。残りは農業や林業を手伝った。

田中氏はその後、転身して事業に成功され、英語も学びロータリアンとなってR I の理事、そして会長へと登りつめられたのである。ロータリー百年の歴史のなかで、日本人として3人目、30年ぶりの会長である。

田中会長が掲げられた理念は"Peace through Service"である。ここでいうPeaceは戦争と平和というような大きな平和ではなく、身の回りの平和、家庭の安泰、職場の平和、そして地域社会の平和のためにロータリアンが奉仕によってそれを着実に達成していこうというものである。そのことが、やがて大きな平和になっていくと田中会長は力強く言っているのである。

われわれは各々の職業を通して社会に奉仕し、また程々の身近なロータリー活動によって、このPeaceに貢献していこうではないか。

◇いただきます

さて、多くのクラブを訪問したが、小さなクラブでもユニークな活動をしているところもあった。

訪問が全部終わったらMonthly Letterで紹介したいと思っている。とくに感動したことは、2、3のクラブで、声をそろえて「いただきます」、「ごちそうさまでした」と唱和していることだ。金沢西クラブではSAAが「神の恵みとそれを作ってくださった人々に感謝していただきましょう」と発声すると、全員が「いただきます」と合掌するのである。

私は何故感動するのだろうか、不思議な感じがしてきた。「いただきます」は家庭でも学校でも日本人として当然のように言っている。なのに大人の世界ではあまり言わなくなってきた。家庭でも言わない家が多くあるという。そのような中で、大人の「いただきます」に感動するのである。

先週、台湾に行ってきたが、李登輝さんが「日本の経済は長く低迷しているが、日本の伝統、文化、技術そして日本人の思いやり、礼儀・礼節、あたたかさ・・・は失われたわけではない。見習わなければならない」と言うておられた。

恥ずかしく、さみしい気持ちになったが、それでも、とくにロータリアンはその回復、甦りに努力していこうではないか。

◇ロータリーはがけっぶちに

私は日本のロータリーはがけっぶちにあると思う。会員数の減少ばかりではなく、あまりにも形式にとらわれすぎていると思うからだ。

日本の人口は昨年105万人が生まれ、125万人が死んだ。20万人の減である。生まれた数の少なさは新記録、死亡は今までもっとも多く、減少数も記録更新である。この傾向は続いていくだろう。だから、会員数の減少はやむをえない。とくに地方はそうである。世界で画一的にクラブを増やし、会員増を叫んでもそううまくはいくまい。会員の維持には努力していかなければならないが、不可能な地域もある。場合によっては両方の十分な合意があれば合併もしていくべきだ。そして、若い人々が入ってきやすいように、種々の制度もわかりやすくしていくべきと思う。

昨年までこうだったから今年も、というのが今のロータリー。"Think, Change and Love Rotary"はそのために提唱させていただいた。

100年前にポール・ハリスが言っている。『世界は常に変化している。世界の変化とともにロータリーは変化し、成長していかなければならない』。

◇南砺クラブ

熱心に私の話を聴いてくださったこと、大変うれしかった。その後のパーティも和やかで楽しかった。このクラブには民謡同好会もあり、そのご披露もあったが、なかなかのレベルだと思った。野球、写真、ゴルフ・・・と同好会の活動が盛んで、そのため仲の良いクラブの印象を強くした。

ロータリーは寄付ばかりではない。本来、「淋しかったから」作られたもの。だから、ロータリーは知人ではなく、友人の集まりである。そして、それと「奉仕」。これが本来の二大基本といえよう。

南砺クラブのご発展を祈ってやまない。

